

適正施設ガイドライン

【アユモドキ *Leptobotia curta*】

2020年9月

公益社団法人日本動物園水族館協会

1 飼育環境

1-1 水温

- 1) 未成魚・成魚
室温飼育 (6~30℃)
- 2) 仔稚魚
室温飼育 (20~28℃)

1-2 振動・光

振動および懐中電灯などでの急な光の照射は避ける。

1-3 照明 (日照、人工照明、照明時間長)

照明時間は夏と冬で自然日長にあわせるとよい。

直射光による水温上昇に注意する。蛍光灯、LED 灯などの照明でもよい。

1-4 水槽サイズ (面積、容積)

- 1) 未成魚・成魚
90cm 水槽 (90×45×45cm、180ℓ)。90cm 水槽で 10~15 個体。
- 2) 卵・仔稚魚
30cm 水槽 (30×18×20cm、10.8ℓ) の水槽で 100 個体程度。成長に伴い個体数を減らす。

1-5 構造、設備、水槽の数

- 1) 未成魚・成魚
水槽の質に南国砂などの細砂を用いる (底面濾過材との兼用可)。
シェルターとして、直径 10cm 程度の土管や直径 3~5cm の塩化ビニールパイプ、沈木、水草などを植える。
- 2) 卵・仔稚魚
何も入れなくてよい。

1-6 飼育水 (水質)

天然水、または塩素中和した水道水でよい。pH は、弱アルカリ~弱酸性水でよい。



写真1 魚・未成魚の飼育水槽



写真2 卵・仔稚魚の飼育水槽